

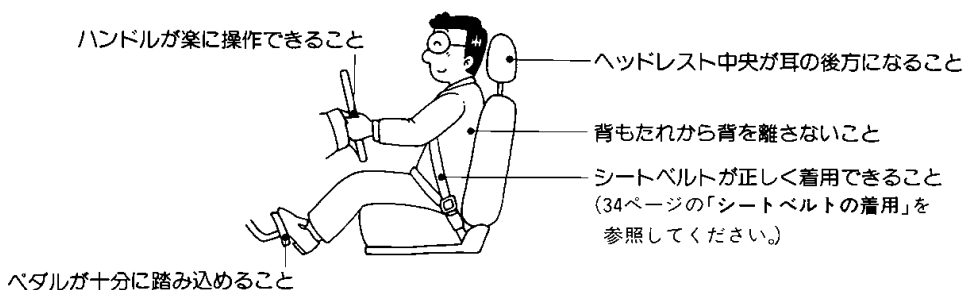
③⑩ シート、シートベルト、チルトステアリング、ミラーの調整

シート.....	30
シートベルトの着用.....	34
チルト & テレスコピックステアリング.....	38
チルトステアリング.....	39
インナーミラー(防眩ミラー).....	40
電動リモコンミラー.....	40

シート、シートベルト、チルトステアリング、ミラーの調整

シート

シートは正しい位置で使用しないと危険防止に役立ちません。
次の事項に注意して調整してください。



1. 走行中は運転席シートの調整をしないでください。シートが突然動き運転を誤り、思わぬ事故につながるおそれがあります。
2. シートを調整したあとは、シートを軽く前後にゆさぶり確実に固定されていることを確認してください。固定されていないとシートが動き、思わぬ事故につながるおそれがあります。
3. 背もたれと背中間にクッションなどを入れないでください。正しい運転姿勢がとれないため、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、衝突したときシートベルトなどの拘束保護装置の効果が十分に発揮されないおそれがあり危険です。
4. シートを調整するときは同乗者や荷物にあてないように注意してください。同乗者がケガをしたり、荷物をこわしたりするおそれがあります。
5. シートを調整しているときは、シートの下や動いている部分の近くに手を近づけないでください。指や手をはさみケガをするおそれがあり危険です。

ページ

フロントシート

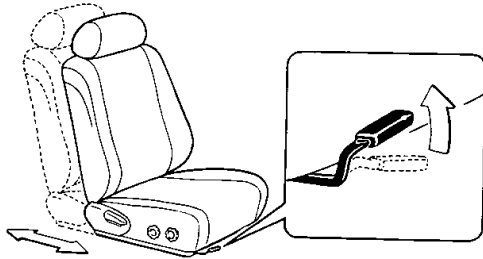
31

リヤシート

33

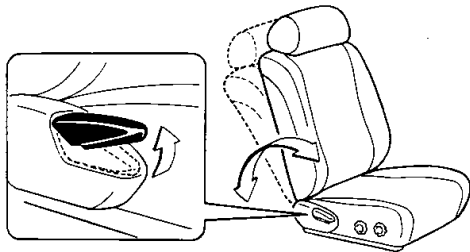
フロントシート

前後位置調整



レバーを引いたまま調整します。

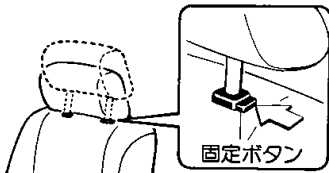
リクライニング調整



レバーを引いたまま調整します。

ヘッドレスト調整

<上下>



- 上げるときはそのまま引き上げます。
- 下げるときは、固定ボタンを押したまま押し下げます。

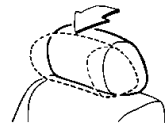


注意

ヘッドレストをはずしたまま走行しないでください。走行前に必ず取りつけ、ヘッドレスト中央が耳の後方になるように高さを調整してください。

<前後>

グランデ、GRサルーン、タクシー
(高級バック)



- 前方に倒して調整します。
- 後方にもどすときは、一度前方にいっぱいまで倒し手を離します。

③ シート、シートベルト、チルトステアリング、ミラーの調整

シート

アームレスト

グランデの運転席、G Rサルーンの運転席

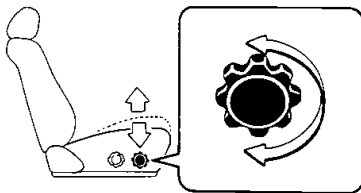


- 倒すときは、固定ボタンを押したまま倒します。
- 起こすときはそのまま起こします。

シートクッション上下調整

グランデの運転席、G Rサルーンの運転席

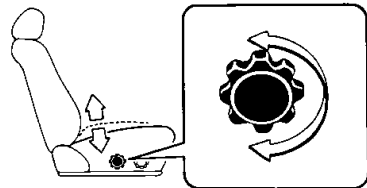
<前側>



ハンドルを回して調整します。

- 上げるときはうしろ側
- 下げるときは前側

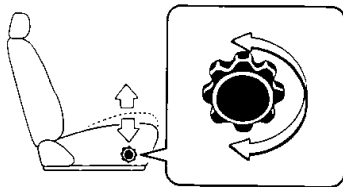
<うしろ側>



ハンドルを回して調整します。

- 上げるときはうしろ側
- 下げるときは前側

G Lの運転席、タクシーの運転席

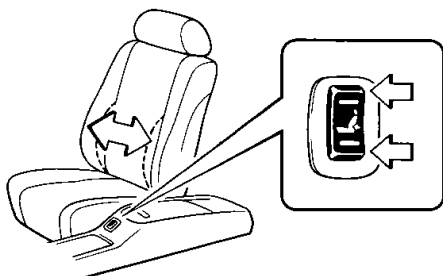


ハンドルを回して調整します。

- 上げるときはうしろ側
- 下げるときは前側

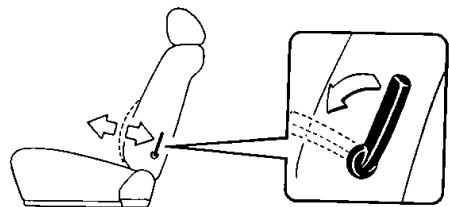
ランバーサポート調整

グランデの運転席、G Rサルーンの運転席



- 硬くするときにはスイッチ上側を押します。
- やわらかくするときにはスイッチ下側を押します。

タクシー(高級パック)の運転席

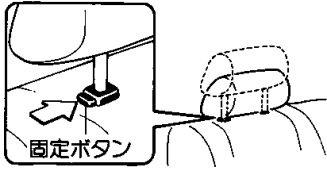


レバーを繰り返して動かすと硬さがやわらかくなったり、硬くなったりします。

リヤシート

ヘッドレスト調整

<上下> グランデ、GRサルーン、タクシー



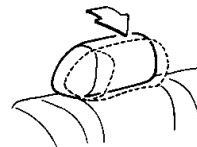
- 上げるときはそのまま引き上げます。
- 下げるときは、固定ボタンを押したまま押し下げます。



注意

ヘッドレストをはずしたまま走行しないでください。走行前に必ず取りつけ、ヘッドレスト中央が耳の後方になるように高さを調整してください。

<前後> グランデ、GRサルーン、タクシー(高級バック)



- 前方に倒して調節します。
- 後方にもどすときは、一度前方にいったいまで倒し手を離します。

シート、シートベルト、チルトステアリング、ミラーの調整

シートベルトの着用

シートベルトの着用

シートベルトは正しく着用しないと効果が半減したり、危険な場合があります。次の注意、使用方法にしたがって走行前に運転者は必ず着用し、同乗者にも必ず着用させてください。



注意!

1. 車に乗る場合は、全員がシートベルトを着用してください。ベルトを着用しないと、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどにケガをするおそれがあり危険です。
2. シートベルトは上体を起こして、シートに深く腰かけた状態で着用してください。正しい姿勢で着用しないと十分な効果を発揮しないおそれがあります。正しい姿勢については「シート」を参照してください。
3. シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。衝突したときなどに体がシートベルトの下にもぐり、腹部などに強い圧迫を受けシートベルトによりケガをするおそれがあり危険です。
4. 3点式シートベルトは、腕の下に通して着用しないでください。ベルトが肩に十分かかっていないと、衝突したときなどに体が前方に投げ出されケガをするおそれがあり危険です。
5. シートベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させて着用してください。シートベルトが腰骨からずれていると衝突したときなどに腹部などに強い圧迫を受けシートベルトによりケガをするおそれがあり危険です。
6. シートベルトがねじれたまま着用しないでください。衝突したときなどに衝撃力を十分に分散させることができずシートベルトによりケガをするおそれがあり危険です。
7. バックルには異物が入らないように注意してください。異物が入るとプレートがバックルに完全にはまらない場合があり、十分な効果を発揮しないおそれがあります。異物が入って取れない場合は、すぐにトヨタ販売店で点検を受けてください。
8. ハンドルやインストルメントパネルに必要以上近づいて運転しないでください。衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮しないおそれがあります。
9. シートベルトは1人用です。2人以上で1本のベルトを使用しないでください。衝突のときなどベルトが正常に働かず、ケガをするおそれがあり危険です。
10. お子さまでもシートベルトを必ず着用させてください。
ひざの上でお子さまを抱いても、急ブレーキや衝突したときなどに十分に支えることができずお子さまがケガをするおそれがあり危険です。
11. シートベルトが首やあごにあたる場合や腰骨にかからないような小さなお子さまはチャイルドシート、ジュニアシートを使用してください。使用しない場合、衝突のときなど強い圧迫を受けシートベルトによりケガをするおそれがあり危険です。また、ひとりすわりのできない小さなお子さまはベビーシートを使用してください。なお、ベビーシートやチャイルドシート、ジュニアシートについてはトヨタ販売店にご相談ください。

〈選択の目安〉

	体重(kg)	身長(cm)	参考年齢
ベビーシート	~10未満	75以下	~12カ月
チャイルドシート	7~18未満	105以下	6カ月~4才
ジュニアシート	15~32以下	135以下	4才~10才

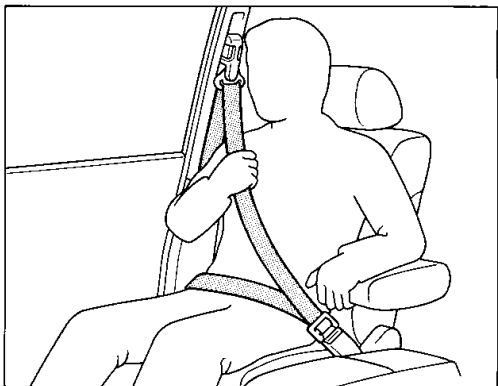


12. シートベルトを着用する場合は洗たくばさみやクリップなどでたるみをつけしないでください。ベルトにたるみがあると十分な効果を発揮しないおそれがあります。
13. 妊娠中の女性や疾患のあるかたがシートベルトを着用する場合は、衝突のとき腹部などに強い圧迫を受けるおそれがありますので、医師にご相談のうえご使用ください。
14. ほつれ、すりきれがきたり、正常に作動しなくなったシートベルトはすぐに交換してください。また、事故により強い衝撃を受けたり、傷のついたシートベルトは使用しないですぐに新品と交換してください。そのまま使用すると衝突などのとき正常に働かず、十分な効果を発揮しないおそれがあります。



注意!

5. シートベルトの改造や取り付け・取りはずしなどをしないでください。ベルトの効果が十分に発揮しないおそれがあります。シートベルトの取り付け・取りはずし、交換についてはトヨタ販売店にご相談ください。
16. シートベルトの清掃にベンジンやガソリンなどの有機溶剤を使用しないでください。また、ベルトを漂白したり、染めたりしないでください。シートベルトの性能が落ち、十分な効果が発揮できなくなるおそれがあります。清掃するときは中性洗剤かぬるま湯を使用し、乾くまでシートベルトを使用しないでください。



■ELR付き(緊急時固定式)3点式シートベルト

リヤセンターシートベルトを除く

身体の動きにあわせて伸縮しますが、強い衝撃で身体が前に倒れそうなどときには、ベルトが自動的にロックされ身体を固定します。



ちょっと一言

シートベルトがロックしたまま引き出せないときは、一度ベルトを強く引いてからベルトをゆるめ、再度ゆっくりと引き出します。

また、グランデのフロントシートベルトはシートベルト着用時に、ベルトによる肩への圧迫感が少なくなるベルト圧迫減少装置がついています。

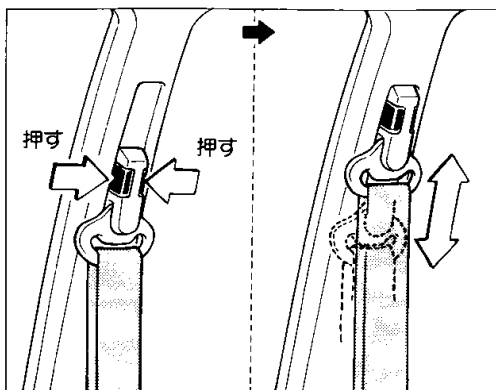
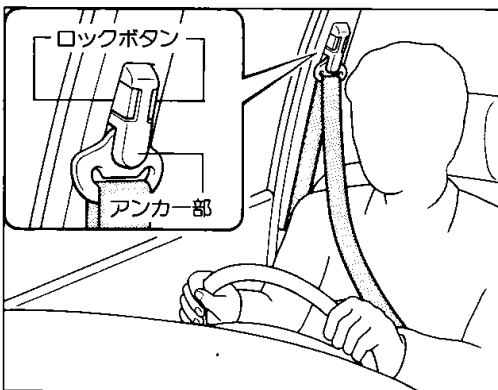
▶アジャスタブルショルダーベルトアンカー

フロントシート

体格にあわせてショルダーベルトアンカーの高さを4段階に調節することができます。

〈調節のしかた〉

1. 左右のロックボタンを押したままアンカー部を上下に動かし、最適な位置で手を離します。上げるときはアンカー部を押し上げるだけでも調節できます。
2. カチッと音がする位置までアンカー部を動かし確実に固定します。



ちょっと一言

ショルダーベルトアンカーの調整は肩部ベルトが首に触れないように、また、肩に十分かかるようにできるだけ高い位置に調節してください。そうしないとベルトの効果が低下することがあります。



シート、シートベルト、チルトステアリング、ミラーの調整

シートベルトの着用

＜着用のしかた＞

シートを調整し、上体を起こし、深く腰かけてすわります。

1. プレートを持って引き出し、ねじれていないことを確かめます。



2. プレートをカチッと音がするまで確実にバックルに差し込みます。

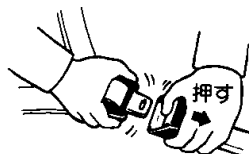


3. 腰部ベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置にかかるとし、肩部ベルトを引き、腰部に密着させます。



＜取りはずし方＞

1. バックルのレバーを押すとはずれます。



2. プレート側のベルトは自動巻き取り式ですので、ベルトをはずすと自動的に格納されます。
3. ベルトが自動的に格納されないときは、いったんベルトを引き出し、ねじれなどが無いことを確かめます。ベルトを手に持ちながら、ゆっくり巻き取らせてください。

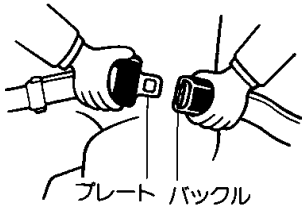
■長さ調整式2点式シートベルト

リヤセンターシートベルト

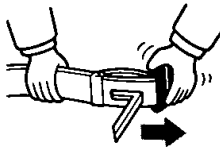
〈着用のしかた〉

上体を起こし、深く腰かけてすわります。

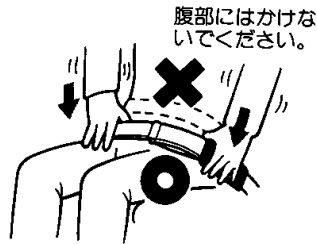
1. ベルトがねじれていないことを確かめてから、プレートを保ックルに差し込みます。



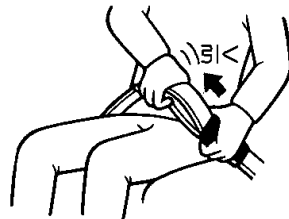
2. ベルトが短いときは、プレート側のベルトを下図の要領で伸ばしてください。



3. ベルトが必ず腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにします。

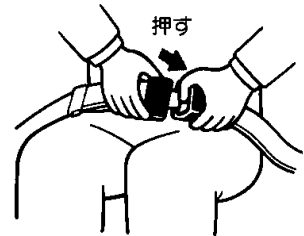


4. 下図のようにプレート側のベルトを引いてベルトのゆるみをなくし腰部に密着させます。

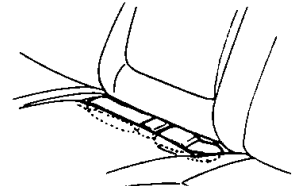


〈取りはずし方〉

1. バックルのレバーを押すとはずれます。



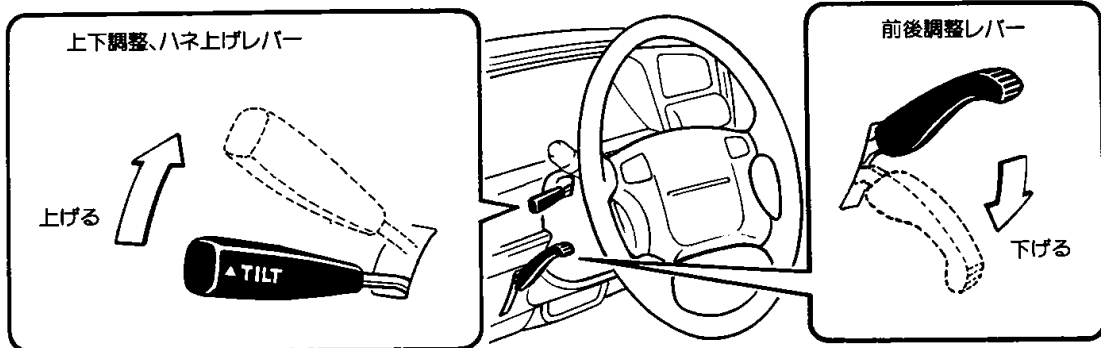
2. はずしたベルトは、プレートを保ックルにはめておいてください。また、グランデ、GRサルーン、タクシー(高級パック)は、下図のように格納できます。



チルト & テレスコピックステアリング

SRSエアバック付き車

ハンドル位置を上下、前後に調整できる装置です。また、乗り降りが楽に行えるよう、ハンドルを最上段までハネ上げることもできます。

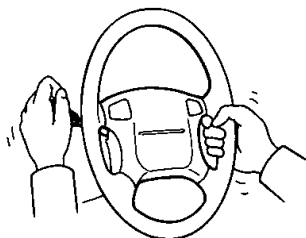


注意!

1. 走行中はハンドル位置の調整をしないでください。運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。
2. ハンドル位置を調整したあとは、確実に固定されていることを確認してください。固定が不十分だとハンドル位置が突然変わり思わぬ事故につながるおそれがあります。

上下調整するときは

- ① ハンドルをささえながら、レバーをいっぱい
上げたまま



- ② ハンドルを希望の位置に動かしレバーから手を
離します。
ハンドルがその位置で固定されます。

前後調整するときは

- ① レバーをカチッという音がするまで下げます。

- ② ハンドルを希望の位置に動かし、レバーをカチッ
という音がするまで押し上げます。
ハンドルがその位置で固定されます。

ハネ上げするときは

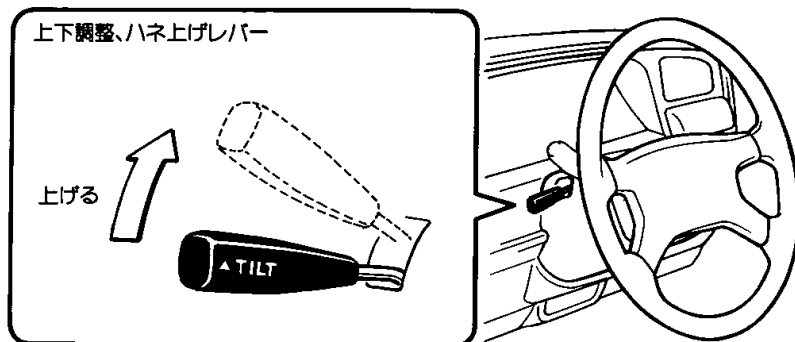
レバーをすばやく確実にいっぱいまで上げます。
ハンドルが最上段までハネ上がります。

ハンドルをゆっくり下げればもとの調整した位置にもどります。

チルトステアリング

SRSエアバック付き車を除く

ハンドル位置を上下に調整できる装置です。また、乗り降りが楽に行えるよう、ハンドルを最上段までハネ上げることもできます。



注意！

1. 走行中はハンドル位置の調整をしないでください。運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。
2. ハンドル位置を調整したあとは、確実に固定されていることを確認してください。固定が不十分だとハンドル位置が突然変わり思わぬ事故につながるおそれがあります。

上下調整するときは

- ① ハンドルをささえながら、レバーをいっぱいに上げたまま
- ② ハンドルを希望の位置に動かしレバーから手を離します。
ハンドルがその位置で固定されます。



ハネ上げするときは

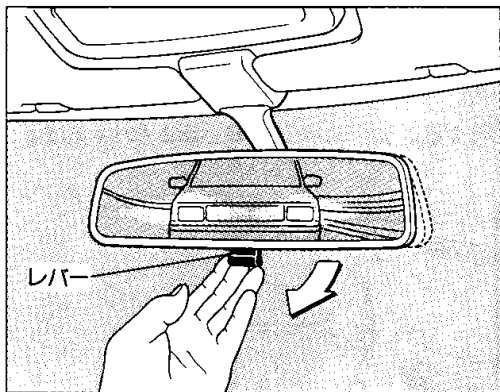
レバーをすばやく確実にいっぱいまで上げます。

ハンドルが最上段までハネ上がります。

ハンドルをゆっくり下げればもとの調整した位置にもどります。

④ シート、シートベルト、チルトステアリング、ミラーの調整
 インナーミラー(防眩ミラー)／電動リモコンミラー

シート、シートベルト、チルトステアリング、ミラーの調整



インナーミラー(防眩ミラー)



走行前に後方が十分確認できる位置に調整してください。
 ちょっと一言

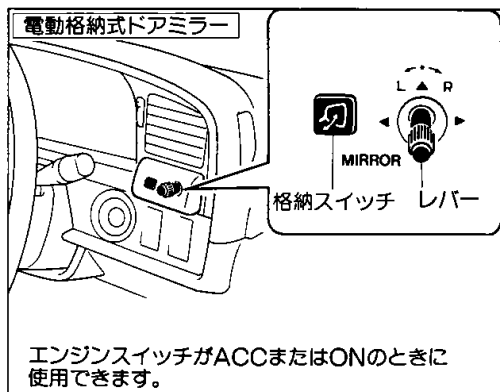
1. ミラー調整はレバーを前方の位置にして、ハンドルをにぎる通常の姿勢で行ってください。
2. 夜間走行時など、後続車のヘッドランプがミラーに反射してまぶしいときは、レバーを手前に引いてください。

電動リモコンミラー



注意!

1. 走行中は、ミラーの調整をしないでください。運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。
2. ドアミラーはミラーを倒したまま走行しないでください。ミラーによる後方確認ができず事故につながるおそれがあります。
3. フェンダーミラーと比べ次の点で異なります。同じ感覚で運転すると車をぶついたり、思わぬ事故につながるおそれがあります。十分注意して運転してください。
 - ミラーの張り出しが約10cm大きくなります。
 - ミラーに映る物の距離感覚が違います。(ドアミラーの方が物が近くに見えます。)



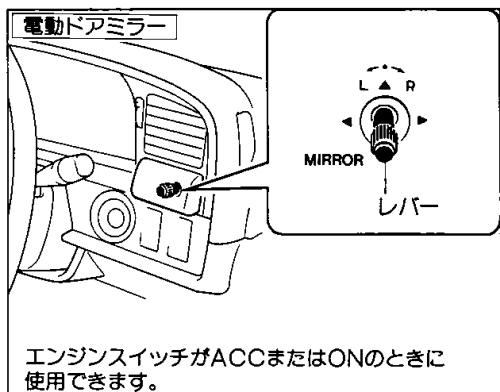
■ 電動格納式ドアミラー

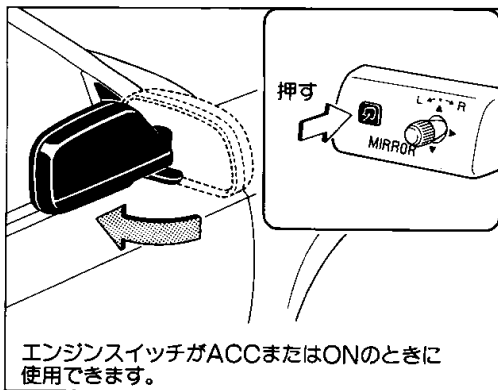
グランデ、GRサルーン

■ 電動ドアミラー

GL

1. 右側のミラーを調整するときは、レバーを回してRの位置にします。左側のときはLの位置にします。
2. その位置でレバーを上下、左右に動かして調整します。
3. 調整が終わったら、レバーを回して中央の位置にします。





▶ミラーの倒し方

狭い駐車場に車を止めるときや、立体駐車場、自動洗車機などを利用するときにはミラーを保護するため、必要に応じてミラーを後方に倒すことができます。

◀電動格納式ドアミラー▶

1. 格納スイッチを押すと、ミラーが自動的に車両後方に倒れ固定されます。
2. 左右のミラーがともに格納された状態のとき、スイッチを押すと車両前方に“カチッ”という音がするところまでどります。
3. 手動で倒すこともできます。



ミラーが動いているときは手を触れたりしないでください。手をはさんだり、ミラーの故障などの原因になるおそれがあります。

◀電動ドアミラー▶

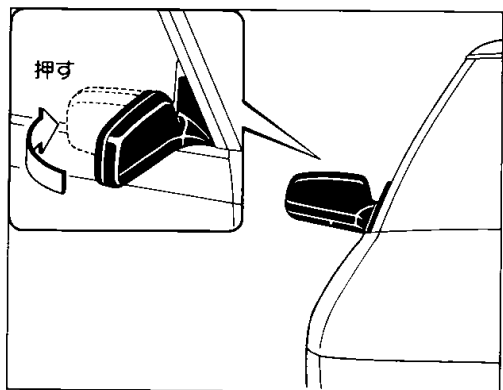
1. ミラーのカバーの端を車両後方に押すと、ミラーが後方に倒れたまま固定されます。



ミラーを強い力（約30kg以上）で押さないでください。

ちょっと一言

2. もともにもどるときは、カバーを車両前方に“カチッ”という音がするまで起こします。



■電動フェンダーミラー

注文装備

1. 右側のミラーを調整するときは、レバーを回してRの位置にします。左側のときはLの位置にします。
2. その位置でレバーを上下、左右に動かして調整します。
3. 調整が終わったら、レバーを回して中央の位置にします。

